

こだわりが詰まったティンバック2の
ウンチクをまとめてご紹介!

TIMBUK2って どんなブランド?



雑学図鑑
PART.2

こだわりのメッセンジャーバッグを製作するメーカーとして、日本でもファンが多いサンフランシスコ発のブランド「TIMBUK2(ティンバックツー)」。数々のブランドの魅力を取り上げるとともに、今注目の「アーバンモビリティ」シリーズをご紹介します!

写真・文 / 藤崎 大(WPP)



1989年から 伝説は始まった

ニューヨークの街中をクルマの渋滞をかわしながら颯爽と走るロードバイク。80年代ごろから自転車荷物を配達するメッセンジャーという職業が全米に広がるのに合わせてTIMBUK2も誕生した。1989年、サンフランシスコのメッセンジャーだったロブ・ハニーカットがメッセンジャーのためのバッグを作り始めたのが原点だ。当初は「SCUMBAGS」だった名前を、1990年に「TIMBUK2」へと変更。その後、ロブの経験を活かした機能的でスタイリッシュな本格メッセンジャーバッグは人気を呼び、ラインナップを増やしながら世界ブランドへと広がっていった。



クラシックメッセンジャー

TIMBUK2のルーツにしてラインナップを代表するモデル。メッセンジャーバッグとしての高い完成度と優れたファッション性を両立したヘリテージモデル。XS、S、M、Lの4サイズで8色カラー展開。写真のモデルはMサイズ(約W46×H31×D18cm)のHazardカラーで価格1万2100円。

年代によって違う ブランドロゴの変遷



創業時のロゴは山をモチーフにした「マウンテンロゴ」を使用。どのような場所でも荷物を運ぶタフなメッセンジャーをイメージしてデザインされた。ロゴは現在までに大きく分類して4タイプに変遷。現在のロゴはシンプルでよりお洒落なデザインに。

キャップオープナーは 何のために付いてる?

TIMBUK2ならではの付属アクセサリと言えば肩ベルトのキャップオープナーだろう。日本で使う機会はなくなって来たが、海外ではビンの飲み物が主流のためその名残。いざという時に役に立つ心強いアイテム。

ナイロンテープで肩ベルトに縫い付けられているロゴ入りオープナー。

ロゴマークの由来は?

TIMBUK2のロゴは1991年に誕生した。きっかけはロブがペーパーナプキンにフェルトペンで描いたマークであった。楕円に回転するような形は自転車の車輪をイメージ。現在はさまざまな製品のアイコンになっている。



ロゴはメッセンジャーをルーツに持つブランドの誇り。

TIMBUK2、と書いてティンバックツー。サンフランシスコを拠点に、自転車乗りたちのためのメッセンジャーバッグの製作からスタートしたブランドだ。現在ではライフスタイルに合わせて幅広いラインナップを取り揃え、さまざまな層から人気を博す。メッセンジャーバッグで培われた高い機能性や耐久性は、すべてのモデルに反映され、ティンバック2の大きな魅力となっている。

製品は「ヘリテージ」「アーバンモビリティ」「ワーク」「トラベル」「バイク」の5つのカテゴリに分けられ、それぞれの分野でニーズに合わせた製品づくりが行われている。中でも注目を集めているのは「アーバンモビリティ」シリーズだ。ニュートラルで優しいカラーリングを中心としたアイテムの数々は、旅のサブバッグとしてまたは便利なタウンユースバッグとしても、スタイリッシュに使えそうなモデルばかり。男性に限らず女性にもピッタリなラインナップが揃っている。お洒落なロールトップタイプやトートバッグタイプがあるバックパックは、15インチのラップトップまで収納可能という十分な機能性を持ち、スタイルを選ばない。チェストバックやポーチなどのスモールバッグは、キャッシュレス化が進み持ち物がコンパクト化している今、人気が高まっているトレンドアイテムでもある。さまざまなライフスタイルに添う、旬のアイテムが揃っているのだ。

TIMBUK2を構成する 5つのシリーズとは?

TIMBUK2を語る上で欠かせない5つのカテゴリが、ここに紹介するシリーズだ。それぞれの用途に合わせてラインナップが広がるが、中でも注目を集めているのが「アーバンモビリティ」シリーズだ。

HERITAGE
ブランドの伝統的なデザインとスタイルを踏襲した定番シリーズ。

BIKE
自転車での通勤にぴったりの防水性とスタイルを両立したシリーズ。

WORK
スーツスタイルによく似合うスタイリッシュなバックシリーズ。

TRAVEL
キャリーケースをはじめ、旅行や出張に特化したシリーズ。

ブランド名の 由来は?

アフリカの共和国内にある伝統的な都市「Timbuktu(トンブクトゥ)」と、人気のインディーズバンド「Timbuk3」を由来としている。



本国ヘカスタム オーダーが可能

バッグの種類はもちろん、好きな色や素材を組み合わせるオリジナルモデルの製作も可能。なんとSFで縫製を行い、約3週間で手元に届くのだ。



3パネル デザインとは?

1994年に発表されたメッセンジャーの表生地を3つのパーツで組み合わせたTIMBUK2を代表するデザイン。製作工程数も多く凝った作りが特長。



ユーモアいっぱいの 変わり種バッグ

発想力豊かなブランドだけに過去には面白いバッグも製作。内側に泡のイラストも描かれたビールバッグもそのひとつ。キャップオープナーも大活躍。



社風は自由な ワークスタイル

本社ではロードバイク通勤する社員はもちろん、社内ではマスコットでもある犬を飼っているなど、楽しい雰囲気がモノづくりに活かされている。



充実のラインナップが魅力のSHOP紹介!

TIMBUK2 新宿マルイメ

東京都新宿区新宿5-16-4 4F ☎03-6457-7841
11:00~21:00(日祝~20:30)※無休
最寄り駅:東京メトロ新宿三丁目駅から徒歩1分
※カスタムオーダー常設店

小田急ハルク地下1Fトラベルコーナー

東京都新宿区西新宿1-1-3 ☎03-5325-2578
12:00~20:00
※無休
最寄り駅:JR新宿駅西口から徒歩1分
※カスタムオーダー常設店

TIMBUK2 TOKYO

東京都渋谷区神宮前6-7-14 ☎03-6419-7381
12:00~20:00
※不定休
最寄り駅:東京メトロ明治神宮前駅から徒歩3分
※カスタムオーダー常設店

商品についてのご注文はこちらにアクセス。



☎セット お客様相談センター ☎0120-276-010 <https://timbuk2.jp>